



Voice

ボイス

未来のための、ヒントがここに。



今回の定例会(月)

県議会
インターネット中継
配信中!

| | | | |
|----------|---------------------|------------------|------------------|
| CONTENTS | p.1 ▶ 11月定例会の概要 | p.2 ▶ 一般質問の内容 | p.8 ▶ 常任委員会 |
| | p.9 ▶ 特別委員会・議会トピックス | p.10 ▶ 常任委員会県外調査 | p.12 ▶ 可決された議案 他 |



[表紙] テーマ/日の出 撮影/青森県立青森東高等学校1年 山田律希さん

11月定例会の概要

令和5年度一般会計補正予算案、 青森県基本計画「青森新時代」への架け橋の 策定の件などを可決

令和5年11月第316回定例会は、11月22日に開会し、12月8日までの17日間にわたり開催されました。

◎開会日(11月22日)

初日の本会議では、「令和5年度青森県一般会計補正予算(第3号)案」をはじめ、33件の議案及び3件の報告が上程され、宮下知事から、「青森県基本計画「青森新時代」への架け橋の策定の件」について、2040年における本県の「めざす姿を「若者が、未来を自由に描き、実現できる社会」とし、本計画に基づく政策を着実に実行し、



開会日の提案理由説明の様子

県民の所得向上を図ること、長年にわたって本県が抱える課題の解決を目指すとする基本計画の概要など、提出議案等に係る提案理由説明がありました。

その後、9月定例会で継続審査とされ、決算特別委員会に付託された令和4年度決算に関する1件の議案について、山谷委員長から審査状況が本会議に報告されたのち採決が行われ、認定されました。

◎一般質問(11月29日～12月1日)

11月29日から3日間にわたって行われた一般質問では、12名の議員が登壇し、物価高騰への県の対応やこども施策、農林水産業の振興、道路整備状況、教育改革などについて質問があり、県当局からそれぞれ答弁がありました。

また、11月30日には、「令和5年度青森県一般会計補正予算(第4号)案」が追加上程され、宮下知事から提案理由説明がありました。

◎質疑、特別委員会設置(12月5日)、
常任委員会(12月6日)、
特別委員会(12月7日)

12月5日には議案に関する質疑が行われ、補正予算案に計上された費目の事業内容や、青森県核燃料物質等取扱条例案における税率設定の考え方等について、質疑・答弁がありました。また、質疑終了後には、議員提出議案の採決が行われ、議案1件が可決されました。

議案のうち、「地方独立行政法人青森県産業技術センターの中期目標の策定の件」は、議決により設置された、地方独立行政法人青森県産業技術センターに関する特別委員会に、その他の議案33件は各常任委員会に付託され、常任委員会は12月6日に、特別委員会は12月7日に開催され、それぞれ審査が行われました。

◎閉会日(12月8日)

最終日の12月8日には、特別委員会及び各常任委員会の審査内容の報告があり、討論の後に採決が行われ、知事提出議案34件、議員提出議案1件及び請願1件が可決採択されました。



採決の様子

各議員が行った
質問の中から一部を
紹介いたします



本文中の
このマークは
用語解説です。



たなか じゅんぞう
田中 順造 議員

会 派：自由民主党
選挙区：十和田市

経済

Q

青森県物価高騰緊急
対策本部の対応

青森県物価高騰緊急
対策本部における物流の
2024年問題への対応
状況について伺う。

A 商工労働部長

本部における重要なテーマとし
て物流の2024年問題を位置づ
け、対応の検討を進めてきた。

事業者団体の声を踏まえ、9
月補正予算により、荷役時間・荷
待ち時間を削減する取組等を支援
しているほか、国に対して提案・要
望すべき内容等を検討した上で、
11月13日に知事が国土交通大臣や
厚生労働省に対して要望活動を実
施した。

県土整備

Q

奥入瀬・十和田湖地域の
道路環境整備

未来の奥入瀬・十和田
湖地域の目指す姿である
「奥入瀬ビジョン」の実現
に向けた取組状況につ
いて伺う。

A 県土整備部長

奥入瀬溪流に象徴される多種多
様な自然環境の調査及び記録作
業、マイカー交通規制等の社会実
験、環境教育型コンテンツへの定着
を目的とした体験ツアー等を実施
したほか、令和5年9月には、知
事や関係自治体の長等で構成する
「奥入瀬十和田利活用協議会」を新
たに立ち上げた。

今後はこれまでの取組を事業計
画に反映させ、実施段階へと移行
させていく。



つるがや たかし
鶴賀谷 貴 議員

会 派：新政未来
選挙区：弘前市

教育

Q

不登校対策

本県の公立小・中学校及
び県立高等学校における
不登校児童生徒の状況と
その支援について伺う。

A 教育長

本県の令和4年度の不登校児童
生徒数は、前年度に比べ、公立小・
中学校で増加、県立高等学校で減
少している。県教育委員会では、相
談電話を設置し、**スクールカウ
ンセラー**や**スクールソーシャル
ワーカー**を学校
に派遣している
ほか、県総合学
校教育センター
内の「こころの
教育相談セン
ター」で面接相
談や学習支援な
どを行っている。

用語解説

スクールカウンセラー

臨床心理に関して専門的な知識
及び経験を有し、児童生徒が抱える
様々な課題解決のため児童生徒本
人への面接相談や教職員及び保護
者に対する助言・援助などを行う。

スクールソーシャルワーカー

福祉や教育に関して専門的な知
識及び技術を有し、問題を抱える児
童生徒が置かれた環境改善のため、
関係機関への働きかけや保護者、教
職員等への支援、相談、情報提供な
どを行う。

用語解説

ゲートキーパー

自殺の危険を示すサインに気づ
き、適切な対応(悩んでいる人に気
づき、声をかけ、話を聞いて、必要
な支援につなげ、見守る)を図るこ
とができる、言わば「命の門番」とも位
置付けられる人のこと。

A 健康福祉部長

福祉

Q

自殺対策

本県における自殺の
現状と自殺対策につ
いて伺う。

令和4年の本県の自殺者数は2
42人で、最も多かった平成15年
の4割程度となったものの、自殺
死亡率(人口10万人当たりの自殺
者数は全国平均を上回っている。
県では「いのち支える青森県自殺
対策計画」により、メディアの活用
や自殺対策に取り組む民間団体と
の連携による相談窓口等の普及啓
発、SNSを活用した相談事業、
ゲートキーパーの養成などに取
り組んでおり、令和5年度は、取
組内容を強化し実施しているこ
ろである。



おおさわただひろ
大澤 祥宏 議員

会 派：オール青森
選挙区：青森市

Q 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組の進捗はどのようになっているか伺う。

A **カーボンニュートラル**の実現に向けて、県としてどのように取り組んでいくのか伺う。

A 環境生活部長

県では、2050年のカーボンニュートラルを目指し、家庭や産業、運輸等の分野ごとの温室効果ガスの排出抑制、森林の吸収作用の強化など部局横断的な対策を講じている。

具体的には、中小企業への省エネ診断や設備導入支援、省エネ家電への買い替え促進の取組を行っており、これらにより地球温暖化防止はもとより、県民や事業者のエネルギー費用負担の軽減を図り、環境と経済の好循環を創出するよう取り組む。

用語解説

カーボンニュートラル

温室効果ガス排出量から森林等による吸収量を差し引いて合計を実質的にゼロにすること。

地球温暖化による気候変動の影響が世界的に拡大しており、持続可能な社会を将来に引き継ぐため、カーボンニュートラルの実現が重要。

用語解説

医療型短期入所事業所

在宅で生活する医療的ケア児者や重症心身障害児者を自宅で介護する人が、休息、行事への参加や病気などの理由で介護ができない場合などに、短期間、当該児者を受け入れ、入浴、排せつ及び食事の介助等のサービスを提供する事業所。

Q 医療的ケア児への支援体制の充実について、具体的な取組内容について伺う。

A **医療型短期入所事業所**の開設促進に向けた具体的な取組内容について伺う。

A 健康福祉部長

県では、令和4年度から、医療機関や介護老人保健施設等を対象に、個別訪問や電話相談により、医療的ケア児を一時的に預かる医療型短期入所事業所の開設を働きかけてきた。これにより、県内の医療型短期入所事業所は令和4年度から3か所増え、7か所となった。

引き続き、県内の医療機関などに医療型短期入所事業所の開設を働きかけ、医療的ケア児を在宅で介護する家族の介護負担の軽減を図っていく。



きみょう かずひと
木明 和人 議員

会 派：自由民主党
選挙区：上北郡

Q 陸奥湾ホタテガイ総合戦略チームの進捗はどのようになっているか伺う。

A **陸奥湾ホタテガイ総合戦略チーム**で策定する総合戦略について、どのように検討していくのか伺う。

A 宮下知事

チームは、主要漁業関係団体、国立大学や国の海洋研究開発機構、県産業技術センター、県の生産、販売、輸出所管部署で構成し、「生産技術開発」「経営改善の推進」「輸出・販売の促進」のワーキンググループを設置する。

当面の危機を突破する短期的対策から、持続性を高める中・長期的対策まで、分野ごとの課題を深掘りしながら検討を重ね、皆が共通認識のもとで取り組むことができる実効性ある総合戦略を取りまとめていく。

Q 海外ビジネスの推進について、具体的な取組内容について伺う。

A **海外ビジネスの推進**について、県内企業の海外ビジネスの推進に向け、県はどのように取り組んでいくのか伺う。

A 宮下知事

関係機関・団体と連携し、取組実績や経験に応じたサポートを行うなど、海外ビジネスにチャレンジしやすい環境づくりを行い、りんの主要輸出先である東アジアや、今後も経済成長が期待される東南アジアに加え、日本食が浸透し、消費者の購買力も高いアメリカをはじめとした欧米市場をより重視した取組を展開し、グローバルマーケットの需要獲得に積極的に取り組んでいく。



台湾における青森りんごフェアの様子



おおさき みつあき
大崎 光明 議員

会 派：自由民主党
選挙区：八戸市

エネルギー

Q 自然環境と再生可能エネルギーとの共生

制定を目指している共生条例の目的について伺う。

A 宮下知事

再生可能エネルギー（以下、再生エネ）の普及拡大は国全体として必要不可欠な課題である一方、未来世代へと引き継がれるべき自然環境は守られなければならないことから、自然環境と再生エネを持続可能な形で共存共栄させていくためのルールとして、条例制定を目指すこととした。

条例では、再生エネ施設を禁止する地域のゾーニングや、地域との合意形成を円滑にする仕組みなど、再生エネ導入推進に向けて必要な事項を定め、地域・自然との共生の実現を図る。

用語解説

自然環境と再生可能エネルギーとの共生

再生エネの普及拡大が必要な一方で、再生エネ施設の立地による自然環境や景観等への影響・懸念から、各地でトラブルが発生。自然環境や地域と共生した再生エネ促進のルールづくりが求められている。

用語解説

DX

デジタル・トランスフォーメーション。ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

行財政

Q

市町村との連携の推進

次期青森県行財政改革大綱案に掲げる市町村との連携の推進について、県と市町村の職員同士の連携強化にどのように取り組んでいくのか伺う。

A 小谷副知事

県ではこれまで、人事交流やDX推進の支援、ビジネスチャットツールを活用した日常的な情報共有などを通じ、実務者レベルで市町村との連携を強化してきた。

県と市町村の職員同士の連携は、様々な分野において、日常的に、かつ継続的に進めることが重要であり、効果的な事例を庁内で共有するなど、全庁的な取組として推進していく。

こども

Q

こどもの権利保障

こども基本法において、地方公共団体はこども施策の策定・実施・評価に当たり、こどもの意見を反映させるための措置を講ずることとされたが、県ではどのように実施していくのか伺う。

A 宮下知事

県民の声を聴く対話集会「#あおばな」で中学校と高等学校に出向き、直接こどもたちから意見を聞いているほか、青森県こども未来県民会議で、子育て中の親からも直接意見を伺っている。

今後引き続き、こどもたちからの意見をしっかりと直接聞こう。

用語解説

こども基本法

こどもに関する様々な取組を講ずるに当たっての共通の基盤となるものとして、こども施策の基本理念や基本となる事項を明らかにし、こども施策を社会全体で総合的かつ強力に実施していくための包括的な基本法として令和5年4月から施行された法律。

用語解説

青森県基本計画「青森新時代」への架け橋

基本計画は、県行政全般に係る政策及び施策の基本的な方向性について総合的かつ体系的に示した県行政運営の基本方針。来年度からの5年間を計画期間とする新たな県の基本計画、「青森県基本計画『青森新時代』への架け橋」が本定例会で議決され、決定した。

基本計画

Q

青森県基本計画「青森新時代」への架け橋の策定

ジェンダー平等に関し、男女共同参画を基本計画に位置付け計画を推進していくべきと考えるが、県の見解を伺う。


A 企画政策部長

基本計画の策定に当たっては、政策テーマ「地域社会」の施策に、「女性の人財育成とエンパワメント」や「多様性を尊重する環境の整備」を位置付けるなど、男女共同参画の理念を考慮した上で政策・施策体系を設定している。また、本計画では、SDGsの理念を踏まえ各種施策を展開することとしており、SDGsのゴールの一つであるジェンダー平等も含め、男女共同参画の理念も尊重しながら、計画を推進していく。

A 宮下知事

陸奥湾全湾で約6割がへい死した平成22年の経験も踏まえ、緊急に取り組む対策を陸奥湾養殖ホタテガイ高温被害対策パッケージとして取りまとめ、補正予算を追加提案した。

漁業者等との対話や要望を踏まえた本パッケージにより、稚貝や親貝確保対策、経営資金借入時の利子補給等による経営安定対策のほか、漁場環境の監視強化等に取り組み、加えて、中長期的対策については、陸奥湾ホタテガイ総合戦略チームにおいて検討している総合戦略に反映させていく。

水産業  **Q**


高温に伴うホタテガイへい死対策

ホタテガイの高温被害が懸念されるが、県の対応について伺う。



たかはししゅういち
高橋 修一 議員

会 派：自由民主党
選挙区：青森市

病院  **Q**

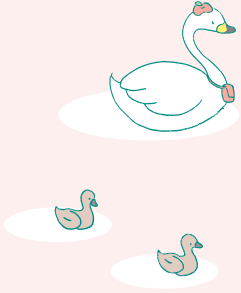
県立中央病院と青森市民病院の統合新病院整備


統合新病院の整備場所について、今後どのように検討していくのか伺う。

A 病院局長

整備場所に関しては、青森市において主体的に検討していただくこととし、市が開催する検討会議において議論していただくこととしている。また、検討会議における検討結果は、県と市が共同設置する有識者会議にも報告し、議論していただくことを予定している。

検討会議は、令和5年11月20日に第1回会議が開催され、3か所の検討対象地のほか、民有地も含めて検討が進められていくものと伺っている。



福祉  **Q**

買い物弱者支援の取組

買い物支援に対するニーズは増えていくと考えられるが、持続可能な買い物支援サービス網構築に向けて、県はどのように取り組んでいくのか伺う。




わだ かんじ
和田 寛司 議員

会 派：自由民主党
選挙区：三戸郡

A 宮下知事

現在実施している実証事業で、利用者からのアンケート等を実施し、効果や課題を検証した上で、買い物支援の具体的な方策を取りまとめることとしている。

また、本事業を通じて形成されたネットワークを生かして、県内の各地域の実情に応じた買い物支援サービス網の構築につながるよう取り組んでいく。

畜産業  **Q**

畜産業における敷料確保

県内におけるもみ殻の有効活用に向けて、県はどのように取り組んでいくのか伺う。

A 農林水産部長

県では、津軽地域で未利用となっているもみ殻を、県南地域の畜産農家が敷料として利用できるよう、もみ殻の輸送や牛舎への散布などの工程についてパターンを設定し、パターンごとにコストや作業性、労働安全性などを調査・検証する実証試験に取り組んでいる。

今後は、調査結果の周知や需要者と供給者のマッチングなど、広域的な耕畜連携体制を強化し、もみ殻の有効活用を図っていく。

用語解説

敷料

家畜の体温維持や汚れの防止、ふん尿の発酵促進など、適正な飼育環境を維持する上で重要な資材。主におが粉やもみ殻が利用されているが、おが粉は供給量の減少などにより価格が高騰している一方で、稲作の盛んな津軽地域では一部のもみ殻が未利用となっている。



しみず えつろう
清水 悦郎 議員

会 派：自由民主党
選挙区：八戸市

国土整備

Q

都市計画道路3・5・1号沼館三日町線の整備状況と今後の取組について伺う。

三八地域の道路整備

A

国土整備部長

沼館三日町線については、令和4年12月に本八戸駅からおがみ神社交差点付近までのバイパス区間240メートルの供用が開始され、現在は、残る三日町交差点までの約500メートル区間において、用地取得と電線地中化のための埋設管路の工事等を進めている。引き続き、電線地中化及び歩道の美化工事などの整備を促進し、早期の全線完成に向けて取り組んでいく。

観光

Q

館鼻岸壁朝市を活用した誘客促進に、県はどのように取り組んでいるのか伺う。

八戸地域の観光振興

A

観光国際戦略局長

館鼻岸壁朝市は、日本最大級の朝市で、地元の方との触れ合いも体験できる重要な観光資源である。このため、マスメディアを活用した情報発信や、旅行会社への旅行商品造成の働きかけなど、積極的なプロモーションに取り組んできた。今後も、地域DMO等と連携し、多様なコンテンツを組み合わせながら、終日にわたって八戸地域の魅力を満喫できる旅を提案し、国内外からの誘客や観光消費額の拡大を図る。



約300の店舗が連なる館鼻岸壁朝市

環境

Q

(仮称)みちのく風力発電事業（仮称）みちのく風力発電事業計画について、事業者が白紙撤回した主要要因の一つに、当初から同計画に反対の声をあげて運動を展開してきた市民団体の活動があったと考えられるが、同団体の活動に対する知事の認識について伺う。

(仮称)みちのく風力発電事業

A

宮下知事

市民団体の活動そのものも十分に理解している。また、同事業に関しては関係自治体が全て反対しているという事情もあった。私自身も、八甲田の自然を後の世代に継承することが非常に重要であると考え、5月に県政緊急課題として、反対を表明した。



しかない ひろし
鹿内 博 議員

会 派：無所属
選挙区：青森市

文化

Q

棟方志功記念館は、竹内元知事が棟方志功氏と約束し知事主導で建設されたことから、その検討は県が主体的に取り組むべきであり、建物と庭だけでなく、名称や作品も残すべきと考えられるが、知事の見解と対応を伺う。

棟方志功記念館の存続

A


宮下知事

先日、西青森市長とともに棟方志功記念館を視察した際、展示が終了した後の建物や庭園について、活用するための検討をしたい旨の発言が西市長からあったため、県としても積極的に協力したい。また、記念館は建物の老朽化が進んでいるため、県としては、県立美術館において棟方志功作品の収蔵・管理・展示を行い、青森県が誇る芸術家を国内外にPRしていきたい。名称等については、青森市が検討をしていく中で協力していく。



棟方志功記念館


A 宮下知事
今別町と外ヶ浜町の両町長から直接要望があり、冬期間の交通事故故減少や急勾配箇所解消を求める地元の思いを改めて受け止めた。
冬期間の安全確保はもとより、地元産業を支える物流支援道路としても、通年での安全性確保は重要な課題であると考えており、県と両町との勉強会を通じた議論を重ね、今後も両町との対話を継続しながら、道路整備の方向性を具体化していく。

Q 県土整備  **東青地域の道路整備**

主要地方道今別蟹田線小国峠区間の道路整備の今後の進め方について伺う。



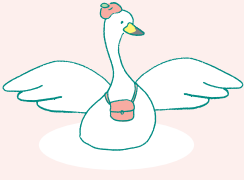
ふくし なおはる
福士 直治 議員
会 派：自由民主党
選挙区：東津軽郡


Q 水産業  **陸奥湾におけるホタテガイ産業の振興**

親貝づくりの促進に向けて、県ではどのように取り組んでいるのか伺う。

A 農林水産部長
近年、安定生産に必要な親貝数を下回っていることから、湾内漁協で構成するむつ湾漁業振興会で成員づくりの必要性を説明するなどしてきたが、令和5年の高水温の影響等により、来年は更なる親貝不足が想定される。

このため、漁業者が産卵期の出荷を抑制した場合の損失に対し、むつ湾漁業振興会が補填するための基金造成を支援することとしたほか、陸奥湾ホタテガイ総合戦略チームにおいて、適正養殖可能数量制度の成員割当量の見直しを検討することとしている。



Q 財政  **令和6年度当初予算について、どのような施策に重点を置いて予算編成をしていくのか伺う。**


令和6年度当初予算編成



あべ ひろえつ
阿部 広悦 議員
会 派：自由民主党
選挙区：南津軽郡

A 宮下知事
青森新時代に向けた施策を本格的にスタートさせるため、少子化への挑戦を最重要課題として「青森モデル」の確立を目指し、こども子育て支援の充実を図る。

また、「若者のしごとづくりと所得向上」、「こどもを生み育てる環境づくり」、「健康づくりと医療水準の向上」を最優先に基本計画に掲げる各種施策を展開する。さらに、教育改革やDXの取組を加速するとともに、物価高騰等の重要課題にもしっかりと対応していく。

Q 教育  **教育改革に関する県教育委員会の対応**

総合教育会議での議論等を踏まえた県教育委員会の今後の取組について伺う。

A 教育長
こどもたちの幸せを最上位目標に据えて、こども一人一人の才能が開花できるように取り組むことが重要であり、そのために、高い志を持って教職員になった方々がこどもと向き合う時間を十分に確保できるように、働き方改革についても着実に進めていく必要がある。

効果的な教育施策の推進に向け、総合教育会議の場や教育大綱の策定等を通じて、知事と教育委員会の一層の連携を図り、本県教育の充実・発展に努めていく。

用語解説

総合教育会議

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4に基づき、知事と教育委員会が県内の教育課題やあるべき姿を共有し、一層民意を反映した教育行政の推進に向けて協議・調整を行う場として、知事が招集するもの。

常任委員会の 審査状況

12/6
開催



総務企画危機管理委員会

【本会議より付託された審査案件】議案14件、請願1件、陳情1件
【審査の結果】議案第11号及び議案第33号は多数をもって、その他の議案は満場一致をもって原案可決
【主な質疑の内容】

質問 青森県基本計画「青森新時代」への架け橋の策定の件について、計画の推進が重要だと考えるが、どのように進めていくのか伺う。

回答 計画の推進に当たっては、各部署が策定する個別計画とも連動させながら、取組の成果や課題を検証・分析し、次の効果的な企画立案につなげるマネジメントサイクルを着実に展開していくこととしている。

また、県民を始め、市町村や企業・団体等あらゆる主体との連携・協働などの視点を重視し、進めていくこととしている。

環境厚生委員会

【本会議より付託された審査案件】議案7件

【審査の結果】いずれも満場一致をもって原案可決

【主な質疑の内容】

質問 県民福祉プラザの指定管理者候補者の選定理由について伺う。

回答 唯一の応募団体である社会福祉法人青森県すこやか福祉事業団の提案内容について審査した結果、①利用者ニーズの把握など、サービスの向上を図るための具体的手法が提案され、県民の平等な利用の確保が期待できること②団体の財務状況が健全で、運営実績があることなど、施設の管理を適正かつ安定して行う能力があると認められること③施設の設定目的に合致した自主事業の積極的な実施が期待できることなどの理由から、社会福祉法人青森県すこやか福祉

社事業団が指定管理者候補者として適当であるとし、選定したものである。

農林水産委員会

【本会議より付託された審査案件】議案2件

【審査の結果】いずれも満場一致をもって原案可決

【主な質疑の内容】

質問 基幹水利施設ストックマネジメント事業の概要と今回の補正予算での取組内容について伺う。

回答 本事業は、ダムや頭首工、用排水路などの基幹的農業水利施設の長寿命化を図り、建設・維持管理等にかかるコストを低減するため、施設の機能診断や機能保全計画の作成、機能保全計画に基づく対策工事を実施するものである。

今回の補正予算では、平川市の引座川地区で頭首工の補修、つがる市の車力排水路地区で排水路の改修を実施する予定としており、合計で1億4700万円を計上している。

商工労働観光エネルギー委員会

【本会議より付託された審査案件】議案4件

【審査の結果】議案第29号は多数をもって、その他の議案は満場一致をもって原案可決

【主な質疑の内容】

質問 青森県営浅虫水族館の利用促進のため、今後どのように取り組んでいくのか伺う。

回答 今回の指定管理者候補者からの提案では、来館者の増加に向けて、親子、働き世代、高齢者など各来館者層向けに、磯に住む生き物に触れ合えるタッチコーナーなど親子で楽しめる展示の充実や、平日に実施する体験イベントの充実等を図ることとしている。また、新規来館者の掘り起こしのため、報道機関へ積極的に情報提供するほか、移動水族館の実施など、地域、施設、団体との連携を強化し、浅虫水族館の魅力を発信していくこととしている。

県としても、県広報番組や観光パンフレット等で浅虫水族館の情報を積極的に発信することで県内外からの誘客を促すなど、指定管理者と連携しながら、来館者増に取り組んでいく。

文教公安委員会

【本会議より付託された審査案件】議案2件

【審査の結果】いずれも満場一致をもって原案可決

【主な質疑の内容】

質問 交通違反情報管理システムの更新整備のため、債務負担行為を設定した理由について伺う。

回答 新たに整備する交通違反情報管理システムは、令和6年12月からの運用開始を予定しているが、システムの構築に8か月を要することと、一般競争入札に要する期間を確保するため、前年度から契約手続ができるよう、令和5年度からの債務負担行為を設定することで、より効率的な整備を考えている。

なお、債務負担行為の設定期間は令和11年度までとし、システムの稼働に必要な、ハードウェア、ソフトウェア、設定構築、保守などの一式について、リース方式で調達することを検討している。

建設委員会

【本会議より付託された審査案件】議案12件

【審査の結果】議案第24号から議案第28号までは多数をもって、その他の議案は満場一致をもって原案可決

【主な質疑の内容】

質問 駒込ダム建設事業の目的及びこれまでの取組について伺う。

回答 駒込ダム建設事業は、青森市の中心部を流れる駒込川及び駒込川合流後の堤川下流部における治水安全度を向上させるほか、共同事業者である東北電力株式会社による発電等を目的としている。

平成30年度に発注した本体建設工事の進捗は概ね順調であり、来年の基礎掘削の着手に向け、令和5年11月までに河川を切り回すための仮排水トンネル等の施工を概ね完了しているところであり、令和5年4月時点における進捗率は、事業費ベースで27.5パーセントとなっている。

特別委員会の 審査状況

12/7
開催



地方独立行政法人
青森県産業技術センター
に関する特別委員会

【本会議より付託された審査案件】議案1件

【審査の結果】多数をもって原案可決

【主な質疑の内容】

質問 農作物の試験・研究開発について、地球温暖化による気温上昇に対応するため、県では今後、どのような取組を求めているのか伺う。

回答 短期的には栽培技術の開発が、中長期的には品種の育成が必要と考えている。

栽培技術の開発については、りんご果実の日焼けの軽減技術の開発や、病害虫防除では、農薬に加え微生物等の天然資材由来のバイオ製剤の活用なども含めた総合的病害虫防除技術等に関する試験・研究開発を求めている。

品種の育成については、高温でも栽培しやすい品種として、水稲では、胴割米や白未熟粒の発生が少ない品種、りんごでは着色管理が不要な品種等の育成を求めている。

また、第三期計画では、新たな作物の導入の試験研究を求めている。引き続き、長期的視点で気温上昇に対応した新たな作物の導入に向けた取組を求めている。

地方独立行政法人青森県産業技術センターに関する特別委員会名簿(15名)

委員長 山田 知 副委員長 工藤 慎康

委員

| | | | |
|--------|-------|-------|------|
| 田名部定男 | 森内之保留 | 櫛引ユキ子 | 今 博 |
| 小比類巻正規 | 福士直治 | 吉俣洋 | 大澤敏彦 |
| 工藤悠平 | 工藤貴弘 | 斉藤孝昭 | 後藤清安 |
| 吉田ゆかり | | | |

質疑の様子



Column

「特別委員会」って、なに？



必要がある場合に議会の議決で設置することとされている委員会。今回の特別委員会は、地方独立行政法人青森県産業技術センターの中期目標の策定に係る議案(農林水産委員会及び商工労働観光エネルギー委員会の両常任委員会に関わる案件)を審査するために設置された。

Topics

議会
トピックス



表彰状等伝達時の様子

阿部広悦議員が 自治功労者として 表彰されました。

阿部広悦議員(自由民主党、南津軽郡選出)が、議員在職25年以上の自治功労者として、全国都道府県議会議長会から表彰されました。

第316回定例会では、開会日の11月22日の本会議冒頭に、丸井議長から表彰状及び記念品が伝達され、知事からは記念品の贈呈がありました。

常任委員会県外調査



総務企画危機管理委員会

総務企画危機管理委員会は、11月6日から8日にかけて兵庫県・大阪府において調査を実施しました。

青森空港（青森市）では、株式会社フジドリームエアラインズから、青森線の利用促進について説明を受け、質疑応答を行いました。

人と防災未来センター（兵庫県神戸市）では、阪神・淡路大震災の経験と教訓について説明を受け、質疑応答を行うとともに、施設を視察しました。

淡路市役所（兵庫県淡路市）では、淡路ジェノバラインの利用促進について説明を受け、質疑応答を行いました。

大阪中之島美術館（大阪府大阪市）では、大阪中之島美術館の運営におけるPFI事業について説明を受け、質疑応答を行うとともに、施設を視察しました。



人と防災未来センターでの視察の様子

環境厚生委員会

環境厚生委員会は、11月6日から8日にかけて熊本県・鹿児島県において調査を実施しました。

熊本県食肉衛生検査所（熊本県菊池市）では、施設の概要と現況等について説明を受けるとともに、施設の視察をしました。

熊本大学病院小児在宅医療支援センター（熊本県熊本市）では、小児在宅医療支援体制の概況等について説明を受けるとともに、施設を視察しました。

鹿児島県庁（鹿児島県鹿児島市）では、屋久島の世界自然遺産登録30周年を迎えてこれまでの取組と現状等について説明を受けました。

鹿児島県介護実習普及センター（鹿児島県鹿児島市）では、介護福祉の現状と取組等について説明を受けるとともに、施設の視察をしました。



熊本県食肉衛生検査所での視察の様子

農林水産委員会

農林水産委員会は、10月23日から25日にかけて京都府・滋賀県・大阪府・徳島県において調査を実施しました。

京都府庁（京都府京都市）では、公益社団法人京のふるさと産品協会の京ブランド推進等の取組について、京都府農林水産部及び公益社団法人京のふるさと産品協会から説明を受けた後、質疑応答を行いました。

滋賀県庁（滋賀県大津市）では、森・里湖（うみ）に育まれる漁業と農業が織りなす琵琶湖システムの概要について、滋賀県農政水産部から説明を受けた後、質疑応答を行いました。

大阪府立環境農林水産総合研究所水産技術センター（大阪府泉南郡岬町）では、センターの取組について説明を受けた後、質疑応答を行い、施設内を視察しました。

徳島県木材利用創造センター（徳島県徳島市）では、とくしま農林水産未来人材スクールの取組について、徳島県立農林水産技術センターから説明を受けた後、質疑応答を行い、施設内を視察しました。



環境農林水産総合研究所 水産技術センターでの視察の様子

商工労働観光エネルギー委員会

商工労働観光エネルギー委員会は、10月24日から26日にかけて福岡県において調査を実施しました。

太宰府天満宮(福岡県太宰府市)では、太宰府天満宮アートプログラムの取組及び境内美術館の概要等について説明を受けた後、施設内の視察及び質疑応答を行いました。

青森県福岡情報センター(福岡県福岡市)では、県内事業者の製品販売及び観光情報発信による誘客促進の取組について説明を受け、質疑応答を行った後、北東北三県(青森県・岩手県・秋田県)が運営しているアンテナショップ(みちのく夢プラザ)を視察しました。

九州大学水素エネルギー国際研究センター(福岡県福岡市)では、九州大学水素プロジェクトの取組について説明を受け、質疑応答を行いました。



みちのく夢プラザ(福岡市)での視察の様子

文教公安委員会

文教公安委員会は、11月7日から9日にかけて佐賀県・福岡県において調査を実施しました。

福岡県警察本部(福岡県福岡市)では、VR技術を活用した捜査活動についての説明を受け、質疑応答を行いました。

SAGAスタジアム(佐賀県佐賀市)では、佐賀国スポ・全障スポ開・閉会式の人員輸送と式典内容についての説明を受け、質疑応答を行うとともに、開会式会場のSAGAスタジアムを視察しました。

九州国立博物館(福岡県太宰府市)では、文化財の保護・調査の取組について、文化交流展示室の展示ケース等の設備、バックヤード、免震層についての説明を受け、質疑応答を行いました。

福岡県庁スポーツ企画課(福岡県福岡市)では、福岡県スポーツ推進条例について、制定の経緯と制定後の取組についての説明を受け、質疑応答を行いました。



SAGAスタジアムでの視察の様子

建設委員会

建設委員会は、10月24日から26日にかけて岡山県・兵庫県において調査を実施しました。

倉敷美観地区(岡山県倉敷市)では、倉敷市から、景観の維持・活用に係る取組について説明を受け、現地調査及び質疑応答を行いました。

柳井原インフォメーションセンター(岡山県倉敷市)では、国土交通省中国地方整備局高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所から、平成30年7月の西日本豪雨による災害を契機とした真備緊急治水対策プロジェクトの取組について説明を受け、現地調査及び質疑応答を行いました。

ワールド・ワン本社(兵庫県神戸市)では、Aプレミアムの利用をきっかけとした本県食材を活用する取組について説明を受け、現地調査及び質疑応答を行いました。

三宮地区(兵庫県神戸市)では、神戸市から、まちなかウォーカーブル推進事業の取組について説明を受け、現地調査及び質疑応答を行いました。



倉敷美観地区での視察の様子

第316回定例会で可決された知事提出議案(35件)

令和4年度決算関係(1件) ●決算の認定を求める件

令和5年度補正予算関係(11件)

●一般会計2件、特別会計6件、病院事業会計1件、工業用水道事業会計1件、下水道事業会計1件

条例関係(9件) ●青森県核燃料物質等取扱税条例案

- 青森県知事の権限に属する事務の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案
- 青森県特定非営利活動促進法施行条例の一部を改正する条例案 など9件

その他(14件) ●当せん金付証券の発売金額の決定の件

- 損害賠償の額の決定の件
- 公の施設の指定管理者の指定の件8件
- 地方独立行政法人青森県産業技術センターの中期目標の策定の件
- 青森県基本計画「青森新時代」への架け橋の策定の件 など14件

第316回定例会で可決された議員提出議案の内容

意見書 ALPS処理水の海洋放出に伴う影響に対して確実な対応を求める意見書

廃炉・汚染水・処理水対策関係閣僚等会議の決定に基づき、東京電力は福島第一原子力発電所の多核種除去設備（ALPS）処理水の放出を開始し、スケジュールに従って放流を行っているが、中国をはじめとした諸外国の反応により生じる風評被害が、地域全体に重大な影響を及ぼしかねない状況にあることを踏まえ、国が責任をもって、中国政府と外交上の交渉を行い、水産物に関する輸入停止措置を撤廃させること。風評被害が認められるあらゆる産業について、国が責任を持ってその把握に努めるとともに、効果的な支援措置等を講ずるなど、速やかかつ万全な対応を図ることを国に対し要望。

陸奥湾高水温被害に対する支援強化を求める意見書

青森県陸奥湾のホタテガイ養殖は本県水産業の柱であるが、今夏の記録的な猛暑による異常な高水温により、陸奥湾の養殖ホタテガイが大量にへい死しており、漁業者をはじめ、関連する水産加工業者の経営や雇用といった地域経済に甚大な打撃をもたらすことが懸念されている。よって、漁業者及び関連水産加工業の経営安定化を図るため、生産対策をはじめ、水産加工対策、試験研究の推進や地方自治体への支援など、陸奥湾ホタテガイ産業の早期復興に対して支援を講ずるよう国に対し要望。

請願 青森県私学助成についての請願書

私立高等学校教育の維持充実のため、「私立高等学校経常費補助金の維持・拡充」、「私立高等学校等就学支援金及び青森県私立高等学校等就学支援費補助金等の維持・拡充」、「私立高等学校等施設設備の増改築事業費に対する助成の拡充」、「公私協調による安定的収容」について、青森県私立高等学校保護者会連合会から請願。

青森県をもっと知るため、議会を傍聴しよう!

傍聴にあたり、本誌「傍聴者の声」に掲載するため、アンケートをお願いすることがありますので、ご協力ください。



傍聴者の声

みんなが県政の「主役」に

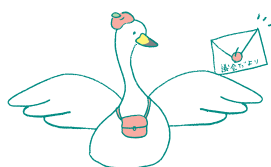
新知事が言う「県民一人ひとりが主役」という言葉について、私は普通の一般県民ですが、県政に関して主役になれる気がしました。

60代 女性 青森市在住

傍聴についてはこちらから



県議会からのお知らせ



◎令和6年2月第317回定例会について

第317回定例会は、令和6年2月22日(木)に開会し、3月22日(金)に閉会する予定です。詳細な日程については、青森県議会HPでお知らせします。

◎あおもり県議会だよりに関するご意見・お問合せについて

〒030-8570 青森市長島1丁目1-1 青森県議会事務局調査課
 電話 017(734)9797(直通)

県議会だよりは こちらから

